

いきいき

生涯学習だより『いきいき』

神流町教育委員会事務局

社会教育主事 茂木 宏隆

syakyou@toun.kanna.gunma.jp

太極拳教室開催

形は生の舎である 11月10日



太極拳は中国武術の一派で、健康・長寿に良いとされ、日本国内でも愛好者は多く、『太極拳のまち』を宣言した福島県喜多方市のように、自治体単位で太極拳を推進しているところもあるようです。

本町では、昨年に引き続き、北関東武術連盟会長の堀米秀夫先生を講師に迎え、小学生から60歳以上の方まで16人の参加で計3回の教室を実施しました。

和やかな空気の中で、基本の動きから先生の指導を受け、参加者の皆さんは真剣な表情で取り組んでいました。太極拳は80代、90代でも続けられる運動だそうなので、一度経験してみてもいいかもしれません？



寒さも忘れて真剣に

恐竜王国秋まつり文化部門発表

普段の取組の成果ここに 11月20日



好天に恵まれ、多くの方々に足を運んでいただきました「恐竜王国秋まつり」では、中学校体育館において、文化部門の発表会を行いました。

展示では、「写友あすなろ」、「ぬいぐるみ愛好会」、「神流美術同好会」、「ひょうたん愛好会」、「ちぎり絵愛好会」、「押し花教室なでしこ」、などの各団体の作品に加え、小中学生の作品も展示しました。ステージでは、「神龍太鼓」、「みかぼ教場」、「アハイアリュ神流」、「生利カラオケ愛好会」、「しらゆり会」、「琴桜会」、「千寿会」、「ゆきよし会」、「琴明会」の各団体の皆さんに熱の入った発表をしてもらいました。



子ども落語教室開催

立川こしら師匠を迎えて11月18日

「神流町教育の日」重点期間における子どもと高齢者の交流事業として、万場小学校全校児童と、いきいき教室の参加者を対象に、子ども落語教室を開催しました。

落語についての説明のあと、助けた狸が恩返しをする「狸の札」という噺を楽しみました。その後、各学年の代表児童が高座に上がり、小咄をする体験をしました。積極的だった子も、はじめは嫌々上がった子も熱演して大きな拍手をもらいました。師匠への質問コーナーでは師匠の名前の由来や好きなネタなどの他に、落語とは関係ない質問もたくさん出ましたが、それら一つ一つに、ていねいに楽しく答えてもらいました。最後に、天神様のお祭で、あれこれ言って父親に物を買わせる子どもの噺「初天神」を楽しみました。

感想にあるように、いきいき教室の参加者の方にも、この落語教室を大変喜んでいただきました。

今回の落語教室をきっかけにして、落語に限らず日本の伝統芸に興味を持ってもらえるとうれしいです。

<いきいき教室参加者の感想>

- ・ 無邪気な子どもと、こしらさんとの話の掛け合いを見て、とても楽しかったです。日頃のストレス解消になりました。
- ・ 日頃、笑うことの少ない毎日の中、考えることと笑うことで頭の刺激・頭の体操になりました。子どもたちのかわいい声にも元気をもらえました。人に会うこと、話しをすることを心がけて、老いゆく身を、少しでも長持ちしたいと思います。いきいき教室が楽しみです。ありがとうございました。

<小学生の感想>

- ・ 落語を初めて聴きました。とてもおもしろかったです。いろいろなことを想像していると自然と笑顔になっていました。
- ・ 落語はもっと難しいものかなと思っていましたが、思ったよりもとてもおもしろかったです。他の子が落語をやったのを見て、落語を身近に感じられました。また落語を見たいです。



1年生も高座で落語を体験